

令和5年4月18日に小学校第6学年を対象に実施された、「令和5年度全国学力・学習状況調査」の結果について、本校の概要をお知らせします。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 結果の概要

前年度の課題を踏まえ、計画的に取り組むことで、児童の学び方が変化し、学力の定着が見られるようになりました。

国 語

・「話すこと・聞くこと」

話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができています。また、目的や意図に応じ、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめて書くこともできていました。

・「書くこと」

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。

今後は、必要なことをメモを取ったり、印を付けたりするなど文章の読み取り方の工夫をするなど、根拠をもって自分の意見を書いたり話したりする力を育てるための授業改善を進めていきます。

・「読むこと」

目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができていました。

・「言葉の特徴や使い方に関する事項」

文の中で正しい漢字を書くことについては、「意外」を「以外」、「期間」を「季節」と書き誤ったりすることが見られました。同音異義語など、日頃の学習で意識しながら使い分けられるよう指導していきます。

算 数

・「数と計算」

加法や減法、乗法については正しく理解ができていました。除法では、筆算の仕方を説明した図を基に、商の意味を考えることに課題が見られました。計算については、授業時間だけでなく、スタディタイムや家庭学習でも繰り返し取り組み、さらに定着が図れるように進めていきます。

・「図形」

正方形の意味や性質については理解していました。

台形や正三角形の意味や性質、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。

図形については、それぞれの図形の意味や性質についての理解が深められるようにしたり、実際に活動したりする活動を多く取り入れ、理解が深まるようにしていきます。

・「変化と関係」

伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることや表の中の適切な数の組を用いることができています。

質問紙

学校が休みの日(土曜日や日曜日、祝日)の学習時間や学習のためのタブレットPCの使用、読書など、家庭での過ごし方について課題が見られました。

タブレットPCの効果的な活用を含めた工夫した家庭学習や読書習慣の確立等、家庭と学校が連携を図り、さらによりよい環境づくりを進めていきます。